

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2014年度 第2号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp

中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
<http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>



当研究所では、農業技術センターとともに研究・人材の交流促進を目的に静岡県、愛知県、三重県の農業関係研究機関と研究協力協定(平成23年11月18日締結)を結んでおり、共同研究の実施や情報交換、人材交流研修等を実施しています。今年度は、その情報発信の場として、「地球温暖化」をテーマに11月20日(木)に岐阜市図書館の多目的ホールにおいて一般県民と関係者を対象にした「4県研究機関連携シンポジウム」を開催します。詳細案内は、追って研究所のHP等に掲載しますので関心のある方はご参加ください。

研究会による「独立袋栽培」普及推進

技術の現地普及のため、夏秋ナス、夏秋トマト独立袋栽培研究会が行われています。H22～24年にかけて「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」で当所を中心に開発した「独立袋栽培」は今年度ナスで12戸、トマトで6戸と徐々に実施農家が増えています。

技術的な課題に対応するために、今年度は夏秋ナスに加えて、夏秋トマトでも研究会を発足し、当所、指導機関、栽培農家が一体となって技術習得と現地への普及を推進しています。



夏秋ナス「独立袋栽培」研究会（左）と夏秋トマト袋栽培風景（右）

● キク「飛驒黄金」早生・晩生及び少腋芽系統を選抜中

黄色の輪菊「飛驒黄金」の一層の作期拡大と生産地域拡大につなげるため、飛驒黄金の派生系統の中から在来系統に比べて早生の系統と晩生の系統を選抜しています。

昨年度の試験では、在来系統より4日程度早生性を示す「A5-2」と11日程度晩生性を示す「B16-1」が選抜されています。

本年度は、これまで選抜されてきた品種の年次変動を確認するとともに、より早生性と晩生性に優れ、腋芽が少なく開花日がそろった系統の選抜を行う予定です。



盆菊選抜試験の様子

● 夏秋トマト「葉先枯れ症」 対策の確立に向けて研究中

夏秋トマトにおける葉先枯れ症は、果実の肥大期に開花花房直下付近の葉で発生することが多く、灰色かび病の発生を誘発するなど重大な生理障害です。葉先枯れ症は加里成分が不足することによって発生するとされ、加里成分を葉に直接散布（葉面散布）することや、土壌に施肥することによってその軽減を図ります。

研究所では、夏秋トマト1作あたりの加里吸収量が60kg/10a程度であった（H25、品種「桃太郎8」）ことを踏まえ、総合的な葉先枯れ症軽減対策（効果的な施肥方法等）の確立に向け、農業技術センター環境部と連携して研究をしています。

右図）夏秋トマトの「葉先枯れ症」の代表的な症状



今年も中間検討会を開催します！



©岐阜県

生産者や農業関係者の方々に、試験ほ場を実際にご覧いただき、本年度の研究内容や進捗状況について説明します。

本所(古川)：8月26日(火) 13時30分～

中津川支所：8月28日(木) 13時30分～

是非この機会に、多数の皆さんの参加をお待ちしています。